

## 2007 年

1. 山下俊一, 光武範吏: 甲状腺癌に関する基礎的研究「甲状腺細胞における癌化のメカニズム」. 日本臨床 6(11):1959-1965, 2007
2. 難波裕幸, 山下俊一: 甲状腺癌に関する基礎的研究「乳頭癌・濾胞癌と遺伝子異常」. 日本臨床 65(11):1967-1972, 2007
3. 高村 昇: 地域住民の安全・安心に向けて～国際と地方の視点から～ 長崎県医師会報 平成 19 年 10(741):16-17, 2007
4. 松田尚樹, 吉田正博, 高尾秀明: 二次元バーコードを用いた放射線管理システムの開発. 月刊自動認識 20(9):32-34, 2007
5. 松田尚樹: 下限数量以下の非密封 RI の管理区域外使用の夢と現実. Isotope News 641: 61-63, 2007
6. 松田尚樹: 放射線安全管理の実際 - 2 版(共著). 森川尚威他編. 日本アイソトープ協会. 東京, 2007
7. 塚崎邦弘: 【白血病】成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL). 最新医学 62(6 増刊号):199-210, 2007
8. 塚崎邦弘: 【特集/慢性リンパ性白血病(CLL)】CLL の病期と予後因子. 血液・腫瘍科 55(1): 22-29, 2007
9. 塚崎邦弘: 成人 T 細胞白血球リンパ腫～その白血病細胞形態の多様性～. 血液疾患と細胞周期～基礎から臨床まで～ 血液フロンティア 17(11):1622-1626, 2007
10. 塚崎邦弘: 【特集・白血病治療を適切に進めるために】FAB 分類から新 WHO 分類へ - 鑑別診断の変遷と実際. 臨床腫瘍プラクティス 3(4):355-359, 2007
11. 塚崎邦弘: 【特集: 造血器腫瘍に対する最新治療】成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対するこれからの治療戦略. 最新医学 62(12):2645-2654, 2007
12. 塚崎邦弘: 【特集: 造血器腫瘍と抗体療法】2.Rituximab によるびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫治療の進歩. 血液フロンティア 17(12):1791-1797, 2007
13. 大津 敦, 塚崎邦弘, 中西幸浩, 西尾和人, 小澤壯治, 山本精一郎, 大野真司, 吉村健一: 研究課題 17-19 臨床試験登録患者検体の有効利用に関する検討に関する研究(主任研究者: 大津 敦, 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集, 平成 18 年度, 国立がんセンター, 東京, 650-652 所収), 2007
14. 塚崎邦弘, 飛内賢正: 【vトピックス】1. JCOG による ATL 治療の取り組みと現状. (渡邊俊樹, 上平 憲, 山口一成(編): ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型 HTLV-1 と疾患, 文光堂, 東京,

180-181 所収), 2007

15. 朝長万左男, 塚崎邦弘:慢性リンパ性白血病. (太田 健, 奈良信雄(編):今日の診断基準, 南江堂, 東京, 457-458), 2007
16. 今泉芳孝, 塚崎邦弘:【II 章・白血病系疾患】成人 T 細胞白血病・リンパ腫. (押味和男, 長澤敏郎, 小松則夫(編) :専門医のための薬物療法 Q&A 血液, 中外医学社, 東京, 256-265 所収), 2007
17. 塚崎邦弘:【成人T細胞白血病・リンパ腫(ATLL)】化学療法の成績は?. (押味和男, 別所正美, 岡本真一郎, 加藤 淳(編) :EBM 血液疾患の治療, 中外医学社, 東京, 291-296 所収), 2007
18. 河野哲也, 田中 光, 木下有希子, 竹原裕介, 汐口広輔, 佐々木 修, 松竹豊司, 東謙一郎, 武井 明, 岡田弘行, 草野みゆき, 谷岡 一, 江口圭介, 松田源治, 千住雅博, 関根一郎, 河野 茂:手術拒否にて自然経過を観察しえた後腹膜発症巨大 Malignant Fibrous Histiocytoma の一剖検例. 長崎医学会雑誌 85(1):7-10, 2007
19. 永山雄二, 齊藤巨樹:慢性甲状腺炎自然発症マウス NOD-H2h4 において電離放射線は甲状腺炎を増悪させる. 第 48 回原爆後障害研究会講演集:2007
20. 本吉康英, 永山雄二, 長谷 亘, 齊藤巨樹, 祖川倫太郎, 中尾一彦, 石井伸子, 江口勝美:肝細胞癌マウスモデルにおける制御性 T 細胞に関連する免疫療法の検討. 小俣政男(編):消化器発癌における炎症・再生・細胞応答の役割: 115-117, 2007